

# 社会資本総合整備計画

◆計画の名称： 苫小牧港西港区における市民や観光客が賑わう環境の形成

◆計画の期間： 平成22年度～平成24年度 3年間

◆交付対象： 苫小牧港管理組合

◆計画の目標： 苫小牧港西港区において岸壁の建設・改良及び緑地を整備することにより安全を確保し、市民や観光客が賑わう環境を整備する。

◆計画の成果目標：

○苫小牧港西港区第3船溜の係船岸充足率を45%から66%に増加する。

○苫小牧港西港区北ふ頭緑地における来園者数を23,300人(過去5ヵ年平均値)を28,200人へ1.2倍増加する。

○苫小牧港西港区における賑わいのある面積を80,800㎡から126,500㎡へ1.6倍増加する。

○苫小牧港における港湾施設の長寿命化計画を平成24年までに15件策定する。

◆交付金対象事業：

事業名	事業内容	港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業 (百万円)
			H22	H23	H24	H25	H26	
第3船溜の整備（漁船だまり）	岸壁、泊地、道路の整備	苫小牧港・西港区	■	■				1,029
岸壁(東-9.0m)の改良（東ふ頭）	防舷材、エプロンの改良	苫小牧港・西港区	■	■	■			200
北ふ頭緑地の整備（キラキラ公園）	緑地整備	苫小牧港・西港区	■	■	■			972
苫小牧港長寿命化計画の策定（港湾施設の長寿命化）	長寿命化計画策定15件	苫小牧港	■	■	■			15
合計（港湾事業）								2,216

◆事業評価：

苫小牧港管理組合では、目標の妥当性、計画の効果・効率性、計画の実現可能性の3点について評価をしています。

評価内容は、次項に示しています。

## 事業評価

項目	評価項目	評価	備考
目標の妥当性	上位計画との整合性	○	苫小牧港港湾計画と整合した整備計画である。
	地域の課題への対応	○	地域課題を踏まえた整備計画である。
計画の効果・効率性	整備計画の目標と定量的指標の整合性	○	整備計画の目標に合致した定量的指標である。
	定量的指標の明瞭性	○	客観的な指標である。
	目標と事業内容の整合性	○	目標に対応した事業内容である。
	事業の効果の見込みの妥当性	○	目標の妥当性より事業効果は十分期待できる。
計画の実現可能性	円滑な事業執行の環境	○	関係者等の理解と協力を得ており、円滑な事業遂行ができる。
	地元の機運	○	市民団体等によるイベントや活動等、今後の展開拡大による効果が期待できる。

苫小牧港計画平面図

計画の名称	苫小牧港西港区における市民や観光客が賑わう環境の形成		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成24年度 3年間	交付対象	苫小牧港管理組合

社会資本総合整備計画 箇所図  
〔苫小牧港 西港区〕

